



—平成30年度 成人式—

平成最後の成人式

新たな年号をリードする新成人^{じだい}

松川町公民館報 第659号

館報 まつかわ

佐藤 幸太郎 さん

平成25年3月、松川中学校を卒業してから早くも5年あまりの歳月が流れました。中学校で過ごした三年間は今でも昨日の日のように思い出すことができます。

特に、担任の永田光秀先生には大変お世話になりました。叱られた、いや、愛のあたる指導を受けたことは数え切れません。信州探訪でソフトクリームを食べてしまったり、ロッカーの隅に隠しておいた教科書を没収され取りに行ったりと言いついたらキリがありません。しかし、いつも真剣に私たちと向き合ってくれた先生のおかげで私も教師の姿をみて私も教師を志しました。また、中学校でできた仲間がかけがえのない財産です。長期休みで帰省した時には、昔話を楽しんだり、近況報告を聞いたり、とても元気づけられます。



さて、73年前の今日、8月15日、日本は終戦を迎えました。今年には1945年当時と

曜日が全く同じだそうです。そんな中、本日成人式を行うのは運命を感じざるを得ません。かつて内閣総理大臣を務められた麻生太郎氏は、所信表明演説でこんなことを述べています。「ともすれば元

氣を失いがちなお年寄り、若者、いや、国民の皆さまのもとに申し上げます。日本は強くあらねばなりません。強い日本とは、難局に臨んで動じず、むしろこれを好機としていつそうの飛躍を成し遂げる国であります。日本は明るくなければなりません。幕末、我が国を訪れた外国人が驚嘆とともに書き上げた記録の数々を通じて、わたくしど

も日本人とは、決して豊かでないにも関わらず、実によく笑い微笑む国民であったことを知っています。この性質は今に脈々と受け継がれていきます。よみがえらせなくてはなりません。」

皆さんは最近、笑っているでしょうか。それぞれの場所において大変なことはきつとあるでしょう。時には、くじけそうになり希望がもてなくなることもあるかもしれません。そんな時には、仲間のことを思い出しましょう。三年間切磋琢磨した仲間がどこかで同じように頑張っています。日本の未来を担う力が私たちにはあります。日本の未来は明るい。未来への希望を申し上げます。

最後になりますが、ここに

の張

は来られなかった泉崎えみかさんという私の幼馴染がいます。先に天国へと旅立ってしまったのですが、彼女に思いを馳せながら改めて今、この場にいられることを感謝した

森本 優太 さん

生まれてきてから20年という大きな節目を迎えることができましたこと、母、祖父母をはじめ友達、先生方、今まで関わって来てくださった全ての方々にほんとうに感謝しています。

私は5歳の頃長野に引越してきて母と祖父母と弟の五人で高校まで生活していました。問題を起こし迷惑をかけたこともありましたが、ここまで育ててくれてほんとに感謝しています。勉強を全くせずふざけていた中学一年生のとき、なんとかなる別にいいと思っていました。始業式で母が中学の先生として名前を呼ばれた時、夢を見ているのかと思つたと同時に、毎日監視されるからしっかりとしないと

いです。誇りある若人われらとして、理想は高く智慮深く精華を揚げん美を成さんの思いで、これからも社会に貢献できるように精進してまいります。

思い少しだけ勉強するようになりました。ほんとはほとんどしてないのですが。悪いことをすればすぐに親の耳に入り家に帰って怒鳴られたこともありました。がほんとに申し訳ないと思つています。中学では友達にも恵まれ毎日楽しく過ごすことができ、今でも大切な自慢のできる人ばかりです。高校では部活ばかりしていて、家に帰るのも遅く朝は早く出て行く、の繰り返しでしたが、それでもご飯を作ってくれたりお弁当を朝早くから作ってくれたりわがままいっぱい聞いてくれてほんとに嬉しかったし助かりました。ありがとうございます。高校でも数多くの迷惑をかけた。何回か母を学校に呼ぶことになつてしまいました。卒業後は大阪の大学へ行き親元離れ一人暮らしとなりました。何から何までやって来てくれたことを当たり前前思つていたので

が、こんなにも面倒くさいことを毎日やってくれていると思うと母、祖父母のありがたさを感じる毎日です。今も毎日感謝しています。

今は理学療法士という職業を目指し毎日勉強させてもらっています。理学療法士はただリハビリをするだけと思いがちですが、人命、その後の人生に大きく関わる仕事です。リハビリで人が死ぬ?と思う人も多いと思います。今までの甘い考えの自分では尊い1つの命を大切に考えれずにいたのですが、実際に自分がその人の命を預かることの事の大きさを理解して治療して行くと言うことがどれだけ大きな責任かと考えた時、自分にほんとはできるかと不安に思います。しかし毎日勉強していくとすごくやりがいがあると思いますし、自分が患者さんの人生を手助けできると思うと全力で頑張っていきたいと思つてきます。



にいました。母自身が生んどくてもまめに連絡をしてきてくれてほんとにいつも嬉しいです。そんな母、祖父母に早く恩返しができるよう精一杯勉強を頑張つて行こうと思つます。この松川の地で生まれる育ち、皆さんと出会えたことが一生の宝物です。これからも皆さんこんな僕ですがよろしくお願ひします。

宮澤 萌衣さん

本日、成人式という大人の門出を迎えることができ、大変嬉しく思います。

20年間を振り返ると様々な転機がありました。その一つ一つのおかげで今の私があり

成人主

ます。とくに私を一番に成長させてくれたと感じるのは高校三年間です。親元を離れ、寮生活をしながら学業に励み、授業が終わると毎日約四時間の厳しい部活に取り組んできました。その後、寮では二時間の学習を行っていました。また、食事制限や携帯電話を持つことも禁止されてお

り、多くの厳しい規則がありました。当然、それまで両親に頼っていた身の回りのことも全て自分で行いました。苦しいと思うこともありましたがそういった厳しい生活に身をおいた経験のおかげで特に、どんな状況でも諦めずやり続ける忍



耐力や継続力がつきました。また、一日にどのよう動いて練習をし、勉強するのかなど自己管理する力が身に付きました。

現在は、大学でトライアスロンをやっています。日中は学業に集中し、講義を終えると、高校時代より過酷な練習をし、毎日忙しい生活を行っています。練習をしてもすぐには目標タイムがでることもなく、練習にくらいついて取り組んでいます。また水泳、バイク、ランニングの3種目を均等に練習しなければならなので体力的に苦しいと思

うことばかりです。しかし、そういった毎日の小さな積み重ねの結果、目標であった国体選手になることができました。この目標が達成できたのはこれらの高校時代の経験が今の私の生活の基礎になっているからだと思つています。この経験をさせてもらえたことに感謝しています。

そして厳しいことや苦しいことを乗り越えられたのは、今まで温かく見守つてくれた家族を始め、離れていても共に高め合つてきた友人、幼いころから見守り支えてくださった先生方や地域の皆様のおかげです。深く感謝し、心からお礼申しあげます。

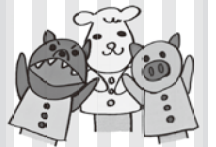
今後は、今まで以上に勉学に励み、社会に貢献できるようになりたいと思つています。また、自分の夢に向かって精進していきたいと思つています。そして、成人としての自覚を常に忘れずに、責任ある行動と今の自分があるのは支えてくださった周りの人のおかげであるという感謝の気持ちをもって生活していきたいと思つています。

公民館

人形劇場

8月5日(日)

町民体育館トレーニングルーム



この夏も松川町に人形劇がやってきました。今回は名古屋市を拠点に全国で活躍されている「人形劇ちんどん」の公演です。

なきだした
貧乏神

ある日、貧乏な男のところに、働き者のお嫁さんが来ました。とてもよく働くので、そのうちお米も取れるようになってきました。そんなとき突然家の天井から貧乏神が落ちてきたのです。

貧乏神は「次の正月にはこの家に福の神がやってきて、自分は追い出されてしまう」と泣き出します。しかし、やさしいお嫁さんは「ほんならここにいなされ」と言いました。

さて、貧乏神はどうなるのでしょうか・・・？



公民館人形劇場は、毎年、いい大人形劇フェスタの広域公演の一環として、松川町公民館社会部が主催しているイベントです。入場は無料なのにプロの人形劇が楽しめることあり、毎回、子どもから大人まで大勢のみなさんが鑑賞に訪れます。また、公演終了後は人形とふれあう時間もあつたりと、夏休みの思い出の一つにもなっています。



さて、気になる貧乏神ですが、この家に残るには福の神と相撲をとって勝つことが条件となりました。大きな体の福の神に、やせた貧乏神は何度も勝負を挑み、とうとう勝つことができました。

では、この家はすくつと貧乏になってしまふのか・・・、と思いきや、やさしさに感謝した貧乏神が福の神によりになり、富を与えたのです。

それでも、働き者のお嫁さんは「働くことが一番」と、それからまじめに働きました。

子どもが楽しむだけではなく、大人にも大事なことを教えてくれる、そんな人形劇でした。

松川町囲碁同好会 夏の囲碁大会

恒例の松川町囲碁同好会の夏の大会は未だ経験したことのない酷暑の中7月21日(土)「えみりあ」(松川町中央公民館)に於いて開催されました。

大会には12名の参加がありました。クーラーの効く快適な部屋での大会でしたがどの棋戦も、静かな中に熱気を感じるものがありました。大会は参加者がそれぞれ勝った者同士で戦うスイス方式でそれぞれ5回戦いました。

その結果小野田氏が実力をいかんなく発揮され5戦全勝で見事優勝されました。

大会成績は以下の通り。

- 優勝 小野田忠雄 5勝0敗
- 準優勝 松下 正博 4勝1敗
- 3位 尾上 雅章 3勝2敗
- 4位 中川 貞義 3勝2敗
- 5位 井澤 弘幸 3勝2敗

記：松川町囲碁同好会 田中 (敬称略)



松川町囲碁同好会は毎月の例会と年4回の大会を開催しております。

囲碁に興味ある方はどなたでも左記迄ご連絡下さい。松川町囲碁同好会事務局 0265-13615223

囲碁入門教室

幼児から高齢者までを対象に、「囲碁入門教室」を企画しています。

次回予定 9月29日(土)9:30~ 場所 中央公民館えみりあ

指導料は無料です。「囲碁を始めてみたい!」という方、気軽にお越し下さい。



難読文書

クイズで楽しく学べます



9月1日(土)えみりあ学習室で、地域を知る講座「松川町の昔のくらし」が開かれました。今回の内容は、水戸浪士の伊那街道通過によって、片桐大島両地区の人々に起こった変化の話し。

この講座の詳細は、下段で伊坪先生が紹介されています。

古・文・書を読み解く、という、伊坪先生のように経験豊富でないと無理でしょう、と思ってしまうのですが、講座の途中で伊坪先生が「今回は、文書の読み方をクイズのようにしてみまし」と言われまして、手元のテキストを見ると

人足一人 手当(銭 文)
人足一人 長持(銭 文)
馬一疋 (銭 文)

などの文章が、古文書の漢字の下に書かれていて、たくさんさんのヒントを出してくれる先生のおかげで、ピンポイント大正解となりまして。

私つてスゴイ!!と大勘違いで気分が良いまま講座はすめられました。

初めて参加した私は、難しい内容で眠くなったらどうしよう、などの心配をしていましたが、全然大丈夫!でした。

クイズにすることで、ただ考えるよりも正解した時の気分は↑するように感じました。近くの人とも自然に話したり相談したり。とても良い雰囲気でした。

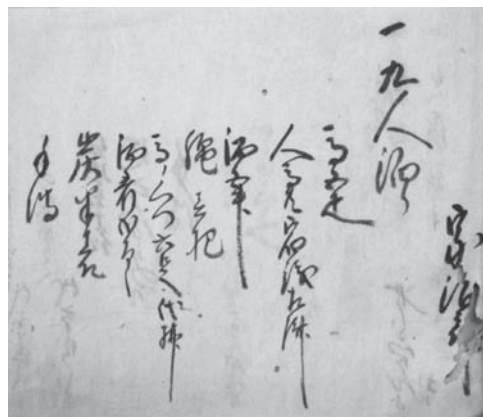
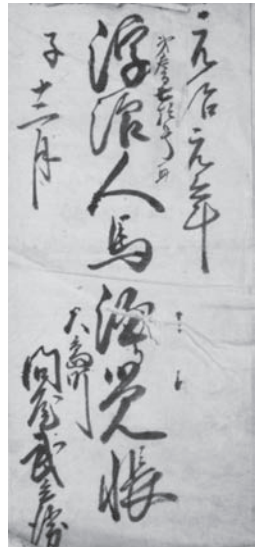
この日の参加者は30人余り。伊坪先生の、時々脱線したりする楽しくためになる講座で、古文書の世界が広がったのではないのでしょうか。

松川町今昔
資料館だより
◆第27回◆
「水戸浮浪士の通過」
(その1)

松川町資料館には、名子区より寄託された古文書が收藏されています。その中に元治1年(1864)11月23日片桐宿・大島宿に宿泊した水戸の天狗党に関連した史料が少しあります。それらは今迄書籍などに書かれている浪士や国学の人たちがどんな行動をしたとか、宿の人々のエピソードではなく、通過や宿泊に關係して動員された宿や村の人々がどんなことをしたのか、どんな品物を用意したか、お金がどのくらいかかったのか、どのくらいの手当が出されたのかなどが、帳面にまとめられています。

それから書籍などに「水戸浪士」という言葉が使われていますが、当時の古文書にはその言葉は全く出てきません。そのかわりに使われているのは、「浮浪士」又は「浮浪人」という言葉です。

史料の中の一冊に、大島宿に泊った浪士と馬の数を記録した帳面があります。大島町



問屋の武兵衛が書いたもので、この帳面で見ると宿泊した家は11軒で、宿泊した浪士は183人です。武兵衛家は9人・角太郎家に23人・喜右衛門家に20人・利兵衛家に14人・七兵衛家に25人・又左衛門家に17人・宗治郎家に9人・金兵衛家に26人・平右衛門家に26人・小六家に3人・多右衛門家に11人です。

大島宿には300人泊ったと言われています。宿泊せず外で火を焚いて番をしていた浪士もいたようですから、宿泊した所は大変だったことでしょう。宿泊用の布団も足らなかつたようで、別の帳面には、名子村全体から出した布団の数を記録した帳面もあります。近村から動員され、荷物を運んだりした人も多かったです。

(次回へ続く)

松川町資料館
伊坪 達郎

スポーツの秋を満喫!!

第43回松川町オープンソフトボール大会 決勝トーナメント

第43回松川町オープンソフトボール大会決勝トーナメントが、8月19日(日)運動公園グラウンドで行われました。結果は次のとおり。

- 優勝 熱湯甲子園
- 準優勝 宗源原
- 3位 松川・諏訪形

第11回松川町民ゴルフ大会

第11回松川町民ゴルフ大会が、7月29日(日)に217名の参加者で高森カントリークラブを会場に行われました。結果は次のとおり。

- 男子
- 優勝 三輪 健二
 - 準優勝 大場 茂弘
 - 3位 竹村 尚

女子

- 優勝 松下 澄子
- 準優勝 青木ももこ
- 3位 大島 佳代



ハイランニング通信



◇温かい応援とボランティアスタッフの皆様ありがとうございました。ございました。

今年の大会は秋晴れの中、過去最高の2,000人を超えるランナーのご参加をいただき、無事終了する事ができました。

これも、早朝よりスタッフとしてご尽力いただきました、区会・自治会・各種団体等の皆様並びに町民の皆様方の温かいご声援とご理解とご協力の賜と存じます。実行委



員会一同深く感謝申し上げます。



◇大会に関するご意見ご感想をお寄せください。

実行委員会では大会の開催に際して、交通規制等の改善を図ってまいりましたが、町民の皆様のご意見・提言等をお寄せいただければ幸いです。

お問合せ

大会事務局(町民体育館内)

電話 48-6713
FAX 48-6714

情報

「仲間と一緒に楽しく走ってみませんか？」

第34回 松川町駅伝大会

11/4日 9:10スタート

- ◆参加資格：町内在住者、町内在学者及び町内勤務者
 - ◆要項・申込書：中央公民館えみりあ、各支所または町ホームページにて
 - ◆申込み期限：10月12日(金)
 - ◆申込み先：中央公民館えみりあ
- たくさんの皆さまのご参加をお待ちしております！

松川町文化祭

松川町町民体育館

10月 26日 10:00~(予定)
 27日 8:30~21:00
 28日 8:30~15:00
 (演奏発表 9:00~)

松川町音楽祭



女性コーラス桐 ♪Danny Boy

♪トゥモロー 中央小学校合唱団

松川コーラスクラブ ♪見上げてごらん夜の星を

♪アヴェ・マリア ワン・ヴォイス少女合唱団

松川町町民体育館
トレーニングルーム

特別出演 コスタリカくらぶ
コスタリカ人ピアノ奏者と松川町の共演!



2018

9/24

Mon.

開場：12:45~ 開演：13:00~

松川高校吹奏楽部 ♪ていちていちる 合同演奏 ♪Sing.Sing.Sing など

♪ワタリドリ 北小金管バンド ♪ラッパ吹奏 消防団喇叭班

中央小金管バンド ♪ドラえもん

♪西郷どん 松川吹奏楽団
メインテーマ

松川中学吹奏楽部 ♪白樺



主催：松川町教育委員会
松川町中央公民館 (36-2622)

なまはら今

マナビノオト

「マナビノオト」は2017年の1月に飯田下伊那の自然保育に通っていた仲の良いママたちが立ち上げたサークルです。

立ち上げの動機は、子どもを見ていると社会との接点が無くなって子どもとママ2人だけの世界になってしまう。そこで子どもをみんなで見あうことで自分の時間を持つて、新しい学びにチャレンジするために自分たちの「得意」なことを教えあうサークルを作りたいということだそうです。

毎月1回集まって活動をし

ているそうで、内容は多岐にわたりメンバーの得意なことを教えたり、講師の方をお願いして勉強会をするなど様々なことを行っているようで、これまでに瞑想やコーヒーマカ、浴衣の着付けやメニューが作っている自然農法の野菜の作り方の体験やその野菜を使った昼食会、女性の生き方についての勉強会、満蒙開拓記念館の見学などを行ってきたそうです。子どもと一緒にできるものは一緒に、子どもがいると難しいものは2

回に日程を分けて片方のママさんたちに子どもを見てもらうなどの形で開催しているそうです。

メンバーは来る者拒まず去る者追わずで、強制ではなく自分の興味のある回だけ参加でもOKだそうです。

今後の目標はこの会が広がりママたちの社会とのつながり、学ぶ時間、癒しの時間を持てるきっかけになることだそうです。



浴衣の着付けを母親どうしで学んだ様子

すぽっと

美味しかった小八郎登山



青色の空、黄色の陽ざし、緑色の小八郎岳。

ベストコンディションの8月26日に小八郎登山をしました。大人26人、子供3人の総勢29人でえみりあをマイクロバスで出発し、鳩打峠から歩き始めました。暑い陽気でしたが、木の影をスーッと抜けてくるヒンヤリした風は、とても気持ち良く、後ろから押してくれているみたいな感じが、快適に登れました。

山頂では初

の試み、「山頂かき水」を食べました。味は王道のメロン、イチゴ。さらに、山頂からの爽快な景色というトッピングを添えた山頂かき水は、とても美味しかったです。



12時過ぎには、下山を始め13時半くらいにはえみりあに帰ってきました。

とても気持ち良く、美味しかった小八郎登山でした。

本館 体育部 今村剛弘



俳句

ダリヤ描く

亀山 勝保(名子北部)

言い過ぎを捨てて深紅のダリヤ描く

秋色にパレットは満ち筆揮う

抽象の絵画描くや霧時雨

水墨の余白の嬉し秋の蝶

青墨の一幅に咲く顔の花



世界で松川町しかない

ツツザキヤマジノギク

観察会

◆期日

平成30年10月14日(日)

◆時間

午前9時〜11時

◆場所

天竜川河川敷(元大島側)

問合せ先

松川町中央公民館

電話 3612622

ツツザキヤマジノギクの可憐な薄紫の花を観察したり、開花株数を調査したりします。一緒に参加しませんか。





夏

盆踊り

上大島
上大島夏祭り
生 東
生東地区納涼夏祭り

名 子
夏祭り 盆踊り大会
新 井
あらい盆まつり



2018年

今年の夏は異常に雨が少なくとても暑い夏になり、暑さに負けて寝込んでしまったこともありました。かと思えば大雨が続いたり、台風も例年に比べ多かった気がします。そんなこんなでなかなか体が対応しきれない夏となった気がします。

それにしても最近は何ユーなどで「記録的」だの「観測史上初」だの「数年に一度」などの言葉をよく聞く気がします。昔はここまで極端な気候は珍しかったような記憶があるのですが……。

今月は防災の日もありました。避難所を確認していると昔と表示が結構変わったりしています。みなさんも災害に備えて今一度いろいろと防災について確認してみたいかがでしょうか？

大久保 康司

公民館報

「まつかわ」

第 659 号

平成30年9月15日

発行所 松川町公民館

責任者 小 沢 誠

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。